

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年 2月 7日	
		事業担当課		防災砂防課	
事業名	みなみだいさわ	南台沢通常砂防事業		補助・単独の別	補助
					事業主体
施行地名	しろいししこすごうごかあざみなみだい			管理主体	
	白石市越河五賀字南台				
根拠法令		砂防法第5条，第13条			
事業の概要	事業目的				
	<p>南台沢は白石市越河五賀字南台に位置し，保全対象として人家52戸および避難所である越河保育園，越河公民館，第1次緊急輸送路である国道4号，避難道路である市道，JR東北本線を含む土石流危険渓流である。渓岸や渓床には浸食があり，降雨時の浸食により生産された土砂の流下により土石流被害が懸念される。</p> <p>このようなことから，通常砂防事業で谷出口付近に砂防堰堤を設置し，土砂及び流木を捕捉，土砂災害を防止し，民生の安定を図るものである。</p>				
	事業内容				
	砂防堰堤 一式 渓流保全工 一式				
事業費					
全体事業費		費用負担内訳			
		国	県	市町村	その他
内用地費		[50 %]	[50 %]	[%]	() [%]
3.50 億円	0.15 億円	1.75 億円	1.75 億円	億円	億円
事業期間					
事業期間		平成23年度～平成27年度（5年間）			
用地買収着手予定年度		平成24年度	工事着手予定年度		平成25年度
施設管理の予定					
宮城県が当該砂防施設を管理する。					

	上位計画等
	<ul style="list-style-type: none"> ・土木行政推進計画（宮城県土木部 平成13年策定 平成22年3月部分改訂） ・社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）（砂防） <ul style="list-style-type: none"> 1 総合的な土砂災害対策の推進
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢等
	<p>社会経済情勢</p> <p>平成21年7月の豪雨により山口県防府市において、土砂災害により大きな被害を受けるなど、昨今の異常気象の多発により、全国各地で土砂災害が多発している。平成21年には、発生件数1,058件、死者行方不明者22名もの被害が発生しており、土砂災害対策に対する社会の要請は今後ますます高まっていくと思われる。</p> <p>【保全施設】</p> <p>人家52戸，第1次緊急輸送路国道4号 L=405m，市道（避難路） L=1,550m 白石市指定避難所の越河公民館，災害時要援護者施設の越河保育園 J R 東北本線 L=349m</p> <p>地元情勢、地元の意見</p> <p>【地域の防災体制】</p> <p>土砂災害危険箇所の公表は防災砂防課ホームページで行っており、土砂災害警戒区域等の指定は平成22年9月に告示済み。隣接地区では土砂災害避難誘導総合案内板が設置されており、当該地区のハザードマップについても作成も急がれている。また、土砂災害警戒区域等の指定に際し、地元説明した出前講座では施設整備の要望が出された。</p>
事業の有効性	事業効果
	<p>想定される事業効果</p> <p>人家52戸の人命及び財産の保全 第1次緊急輸送路国道4号の保全 避難所へ行くための市道（避難路）の保全 白石市指定避難所の保全 J R 東北本線の保全 災害時要援護者施設の土砂災害による被害を防止</p>

事業の効率的性	関連事業の概要・進捗状況等		
		なし	
	代替案との比較検討		
		地域住民は昔から当該地域において生活を営んでおり、集団移転などの代替案などは地域感情を考慮すると困難である。	
	コスト縮減計画		
		既設護岸等の現況施設を最大限に活用し、新規施設を極力縮小する計画としている。	
	費用対効果		
		<u>根拠マニュアル：治水経済マニュアル</u> (平成21年2月改訂版) <u>社会的割引率： 4 %</u> <u>便益算定期間： 50年</u> <u>基準年：平成23年</u>	
	費用項目	建設費	350百万円
		維持管理費	-
		総費用	350百万円
		現在価値(C)	321百万円
	便益項目	直接被害軽減効果	1,569百万円
		総便益	1,569百万円
		現在価値(B)	1,452百万円
		費用便益比(B/C)	4.52

環境への影響と対策	地域指定状況等		
		なし	
	影響と対策		
		緑化工法を積極的に採用し，周辺森林環境への影響を最小限とする。	
総合評価	事業箇所評価結果		
		評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	
	評価結果	予算化された箇所数	
	砂防事業(新規事業箇所)		
	1位 / 3	3箇所	
	対応方針		
		事業実施	

みやぎけん しろいし みなみだいさわ
宮城県 白石市 南台沢地区

事業目的

南台沢地区は宮城県白石市に位置し、**保全対象として人家52戸および避難場所である保育園・公民館、JR、国道4号等を含む土石流危険渓流である。**流域は白石川と斎川に挟まれた南北に連なる標高500～700mの急峻な山地で、谷部の地質は、礫混じりシルトから構成されている。溪岸や河床は浸食があり、洪水時には浸食により生産された土砂の流下により土石流被害や生産土砂の河道堆積による氾濫被害が懸念されている。このことから、砂防えん堤や流路工を整備し、流域内の生産土砂の発生抑制、流下抑制を図り、安定した河道の確保、土石流の流下防止を行うことにより、流域内の保全対象を土砂災害から保全するものである。

箇所概要

保全対象:越河保育園【災害時要援護者関連施設(一般)】

【地域防災計画に記載のある避難所】

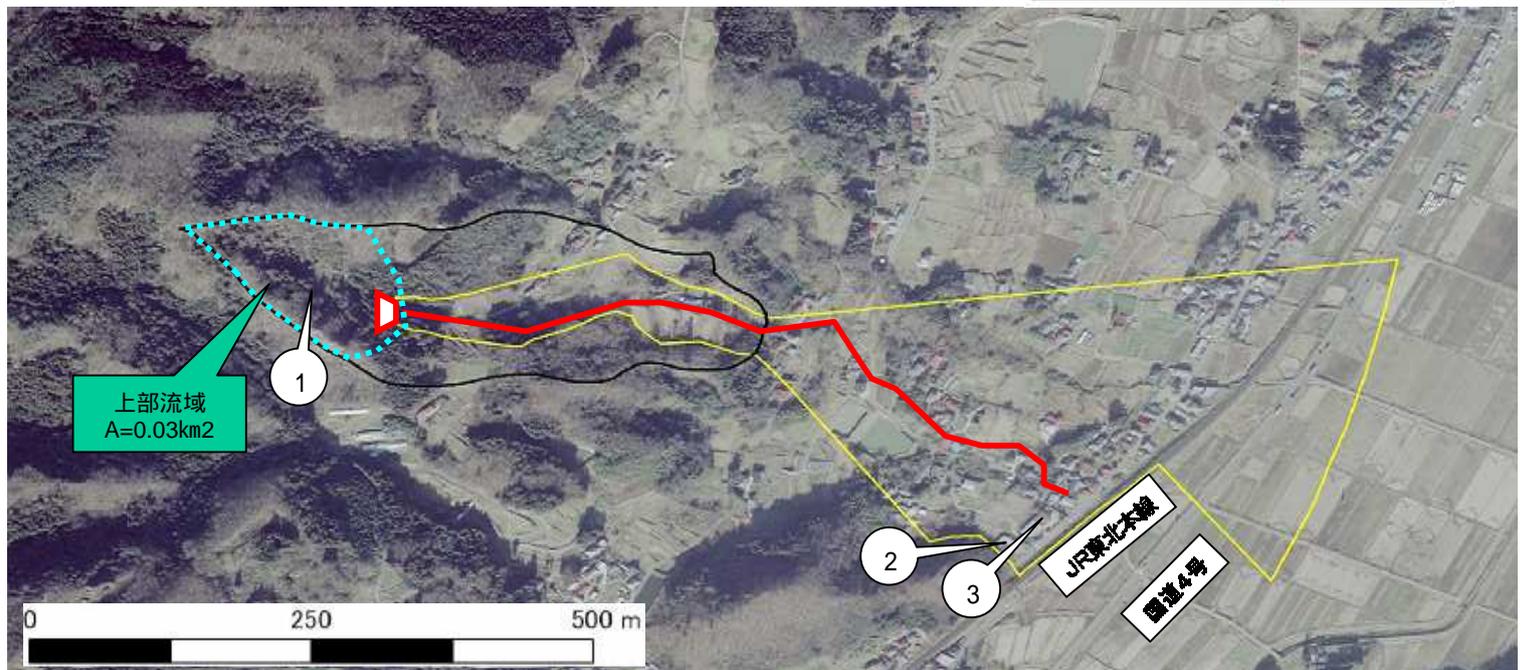
越河公民館【地域防災計画に記載のある避難所】

人家52戸、国道405m、市道1,550m、JR349m

実施内容:砂防えん堤 1基、溪流保全工 1式(H23:測量・設計1式)

H23事業費:20百万円 全体事業費:350百万円(H23～H27)

位置図



流域内の状況



災害時要援護者関連施設
越河保育園



地域防災計画に記載のある避難所
越河公民館